

# フォトニュース

宇宙にもうひとつの「イナガワ」が誕生



▲宇宙に無限にある星の中に、わが町、猪名川町の名前をとって「イナガワ」と命名された小惑星が誕生しました。

これは、猪名川天文台運営委員である山田義弘さんが、国際天文学連合に「イナガワ」と命名申請して認定されたもので、町に認定証を寄贈いただきました。

長寿のお祝いに町長が高齢者を訪問



▲敬老福祉月間の9月4日、真田町長が今年白寿(数えて99歳)を迎えられた半田千代さんを訪問し、記念品の贈呈と長寿のお祝いの言葉を贈りました。半田さんは終始笑顔で、町長の訪問を喜ばれていました。

9月1日現在、町内には103歳の女性を筆頭に、100歳以上の方が6人おられます。

町職員が佐用町に災害支援



▶8月12日〜同14日、台風9号による集中豪雨の被害を受けた佐用町に、延べ車両11台、21人派遣を行い、廃棄物の処理や給水支援を実施しました。

**いながわ 歴史ウォーク ⑦8**  
**北田原の高皇産神社**  
江戸時代の初め、天和3(1683)年9月26日北田原にある高皇産神社の本殿が再建されました。  
創建は平安時代、天曆6(952)年頃、多田家四天王の一人田原太郎秀紹がこの地に住み、建立したとの伝承があります。  
祭神は高天原の主神的存在の高皇産靈神。古事記によると天地開闢の時、高天原に出現したという造化三神の二柱(他に天御中主神、神皇産靈神)で、天孫降臨の神勅を下した神です。  
明治6(1873)年には村社とされ、産土神として今も信仰を集めています。地元では新しい生命が誕



▲高皇産神社拝殿と狛犬が彫り込まれた灯籠(北田原)

生するとまずこの社に参り、のち東光寺へ参るならわしがあります。社殿は、猪名川町で最も多い「春日造」で、西摂津に特徴的な「覆屋」で保護されています。長い参道の階段を上ると、大正時代に奉納された狛犬が彫り込まれたユニークな灯籠があります。

世界平和を願い平和バスを運行



▲8月6日、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式典出席のため、平和バスを運行しました。  
今年も、25人の参加者の中で、例年と比べ中学生、高校生の若い人たちの参加も多くありました。  
世界的な式典を通じて、恒久平和について、あらためて考える機会となりました。

人権を考える町民のつどいを開催



▶8月8日、文化体育館で人権を考える町民のつどいが開催され、約130人が参加しました。  
つどいでは、昨年度実施した人権についての意識調査報告書をもとに、4人のパネルによるパネルディスカッションが行われ、「町民の人権意識について」今後の人権施策のあり方を討論されました。

三年 習與性成  
田中 美樹

▶はらうところやはねるところを力強く、元気に書けるように、心を込めて作品を仕上げました。  
田中 美樹さん(3年)



中谷中学校



▲丁寧に制作し、不思議な空間を描きました。  
玉置 真央さん(3年)

◀枠にとらわれることなく、発想力豊かに描きました。  
福本 稔くん(3年)

三年 閑邪存誠  
松永 桃佳

◀行書の字の流れが難しく、苦勞しました。丁寧に書くところと勢いよく書くところを、しっかり区別して書くようにしました。  
松永 桃佳さん(3年)